

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	えすく羽島（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年11月20日		～ 令和7年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和7年11月20日		～ 令和7年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	感覚統合遊具の設置により、粗大運動の機会を確保するとともに、バランス感覚や協調性、運動機能の向上につなげている。また、個々の発達段階に応じた活動設定を行うことで、安心して挑戦し、自信や達成感を積み重ねられる環境づくりができています。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達段階や状態に応じて、遊具の設定や運動内容を調整している。 ・遊具の配置や活動内容を工夫し、興味や意欲の継続につなげている。 ・安全面に配慮しながら、自ら挑戦できる環境づくりを意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の成長や運動能力に応じた段階的な課題設定を行い、達成感につながる支援を充実させる。 ・遊具の設置や配置変更時には安全確認を徹底し、安心して活動できる環境を維持する。 ・職員間で支援内容を共有し、より適切な支援につなげていく。
2	活動プログラムが固定化しないよう工夫し、運動、制作、食育、おでかけ等の多様な体験を通して、利用者一人ひとりの興味関心や成長につながる支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な活動内容を取り入れ、利用者が意欲的に楽しみながら参加できるよう工夫している。 ・集団の特徴や利用者の状態、ニーズに応じて内容を調整し、適切なプログラム提供に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部との交流や体験活動、季節行事等の充実を図り、より幅広い経験につながる活動提供に努める。 ・利用者の興味や発達段階に応じた活動内容をさらに工夫し、継続的に楽しみながら参加できる環境づくりを進める。
3	学習室と活動室を明確に区分することで、利用者がそれぞれの目的に応じた環境の中で、落ち着いて活動や学習に取り組める体制を整えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・空間の使い分けに加え、時間にも区切りを設けることで、活動にメリハリをつけ、集中しやすい環境づくりを行っている。 ・利用者一人ひとりの特性やペースに応じて、学習や活動内容を調整し、安心して取り組めるよう支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習や活動だけでなく、余暇時間の過ごし方も工夫し、心身のリフレッシュや気持ちの切り替えにつながる環境づくりを進める。 ・利用者の状況に応じた空間設定や時間配分を引き続き工夫し、より過ごしやすく集中しやすい支援環境の充実に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者参加型の行事や交流の機会が十分ではなく、保護者との連携を深める場の確保が課題である。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の情報共有は行っているが、保護者が事業所での活動や支援内容に直接触れる機会が限られている。 ・行事開催について検討は行ったものの、今年度は実施に至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は保護者が参加しやすい行事や交流の機会を検討し、実施につなげていく。 ・行事の開催方法や情報発信を工夫し、保護者との相互理解や連携の充実を図る。
2	地域との交流機会が十分とはいえず、地域とのつながりを深める取組には引き続き課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流機会の拡充については検討しているものの、今年度も十分な実施には至らなかった。 ・そのため、地域との継続的な関わりや連携を深める機会が限られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントや外部との交流機会について引き続き情報収集と検討を行い、参加や実施につなげていく。 ・地域との連携や情報共有を進め、事業所への理解を深めてもらえるよう取り組んでいく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施状況について、関係者への周知や情報共有が十分ではない。 ・参加状況の把握や実施後の報告体制が十分ではなく、訓練効果の検証や改善につなげることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施前後の周知や報告方法が十分に整理されておらず、情報共有に差が生じている。 ・実施曜日や方法によって参加状況に偏りが出ることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施前の周知と実施後の報告を丁寧に行い、情報共有を徹底する。 ・実施時期や曜日を工夫し、参加しやすい体制づくりに努める。 ・必要に応じて複数回実施し、訓練機会の確保につなげていく。